

スーパーマーケット景気動向調査

2014年4月調査結果(3月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年4月22日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

駆け込みによる特需で現状判断高水準も、先行きへの不安はさらに顕著に

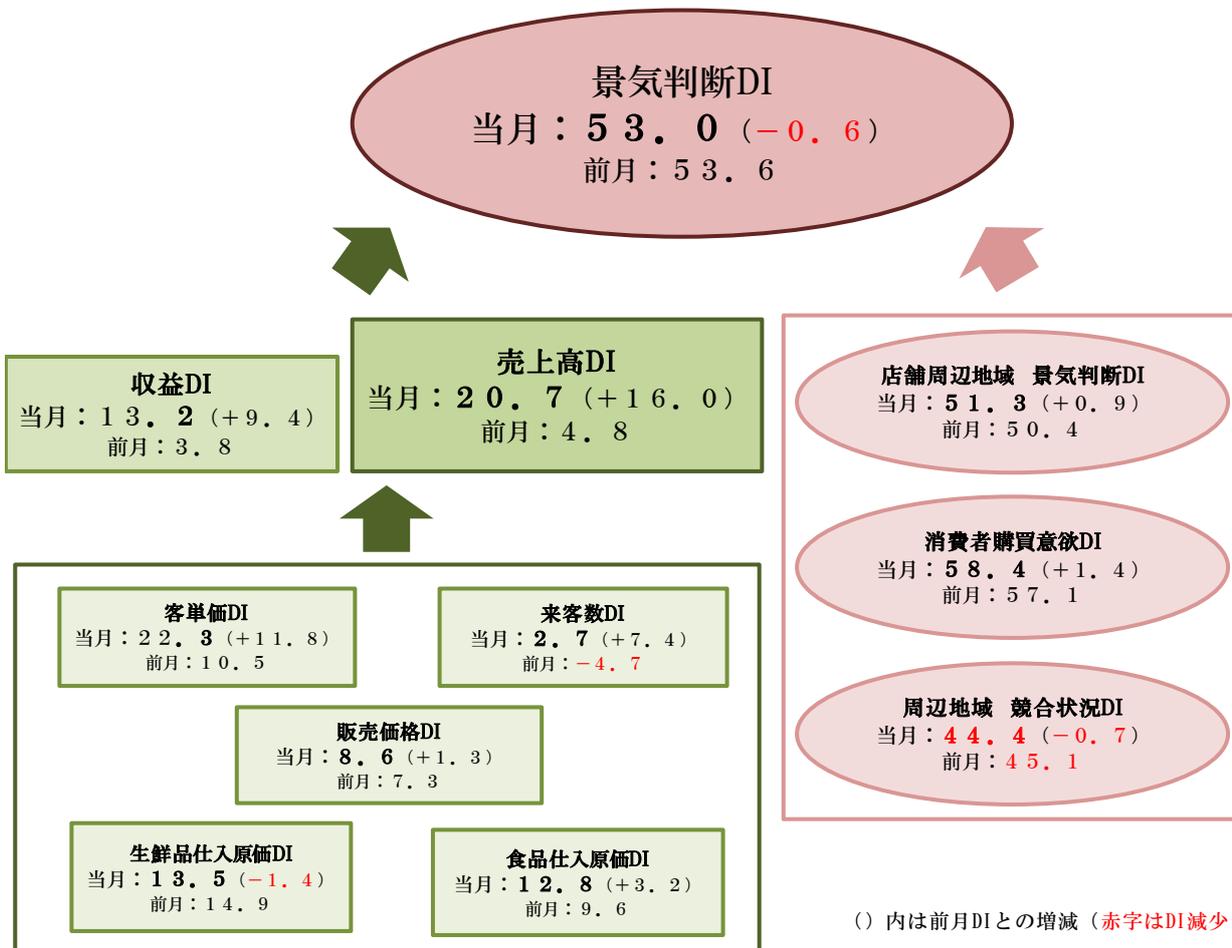
3月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断は、53.0と高水準を維持した結果となった。

経営動向調査によると売上DIが20.7と駆け込み特需により前月比+16.0となり、収益DI 13.2（前月比+9.4）と共に大幅な上昇をみせている。来客数DIも2.7（前月比+7.4）と改善をみせたものの、客単価DI 22.3（前月比+11.5）の上昇による貢献が大きい。各仕入原価DIは大きな動きなく、高水準を維持している。

景況感調査は4月の消費税率引き上げ後の警戒感がさらに強まる結果となった。現状判断は高水準を維持する一方で、見通し判断では景気判断32.9（前月比-6.6）、消費者購買意欲31.7（前月比-6.0）と前月より下落した。そのため現状判断と見通し判断DIのかい離幅はさらに拡大し、景気判断DIでは20近くに達した。次月以降、かい離は縮小していくと予想されるがその方向性が注目される。一定期間の駆け込み需要の反動を経て、回復基調に回帰するのか、先行き判断の動向を特に注視したい。

2014年3月

スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2014年3月キーワード TOP 3

1. 消費税率引き上げ前の買いだめ需要
2. 4月以降の反動
3. 天候要因(気温差、週末雨)

スーパーマーケット経営動向調査

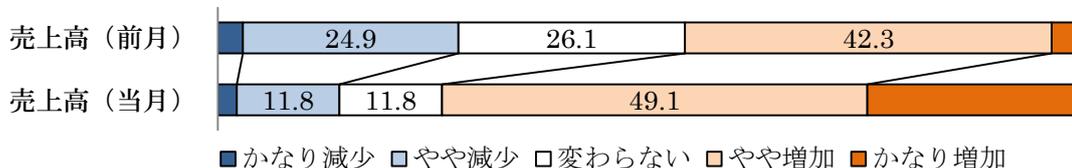
当月：3月速報版集計 232社
前月：2月確報版集計 243社

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「かなり増加」が大幅に増加し、「やや減少」「変わらない」が減少（DIは大幅に上昇）

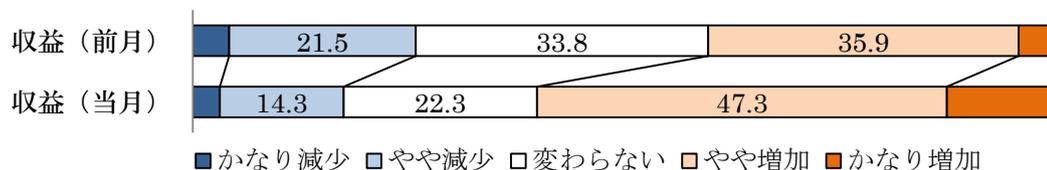
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	2.9	24.9	26.1	42.3	3.7	4.8
売上高（当月）	2.2	11.8	11.8	49.1	25.0	20.7



②収益 DI

「かなり増加」「やや増加」が増加し、「やや減少」「変わらない」が減少（DIは大幅に上昇）

回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	4.2	21.5	33.8	35.9	4.6	3.8
収益（当月）	3.1	14.3	22.3	47.3	12.9	13.2



③生鮮仕入原価 DI

回答構成比に大きな変化なし（DIは横ばい）

回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.0	3.3	37.7	55.2	3.8	14.9
生鮮仕入原価（当月）	0.4	3.1	41.6	51.8	3.1	13.5



④食品仕入原価 DI

「やや増加」が小幅に増加し、「変わらない」が減少（DIは小幅に上昇）

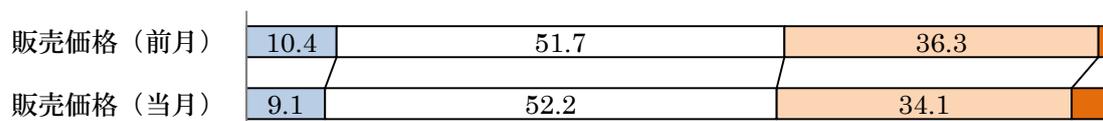
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.4	5.8	49.6	43.3	0.8	9.6
食品仕入原価（当月）	0.4	3.9	43.7	48.0	3.9	12.8



⑤販売価格 DI

回答構成比に大きな変化なし (DIは横ばい)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	10.4	51.7	36.3	1.7	7.3
販売価格 (当月)	0.0	9.1	52.2	34.1	4.7	8.6

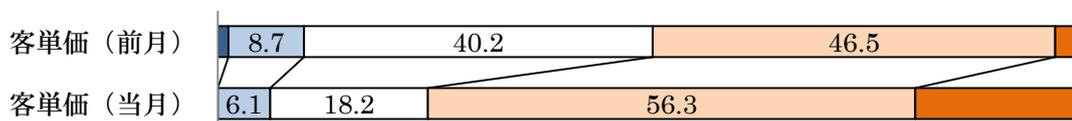


■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑥客単価 DI

「かなり増加」「やや増加」が増加し、「変わらない」が減少 (DIは大幅に上昇)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	1.2	8.7	40.2	46.5	3.3	10.5
客単価 (当月)	0.0	6.1	18.2	56.3	19.5	22.3

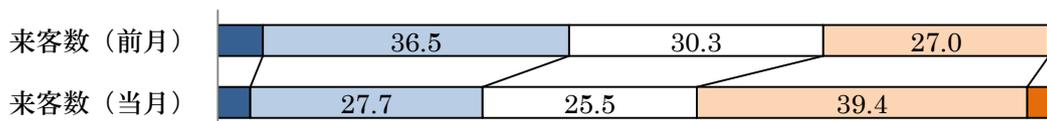


■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑦来客数 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」が減少 (DIは上昇)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.4	36.5	30.3	27.0	0.8	-4.7
来客数 (当月)	3.9	27.7	25.5	39.4	3.5	2.7



■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

2. 景況感調査（現状判断：2～3ヵ月前との比較）

①景気判断 DI

「変わらない」が減少（DIは横ばい）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	0.8	12.4	59.1	26.9	0.8	53.6
景気判断（当月）	3.4	18.1	46.1	27.6	4.7	53.0



②消費者購買意欲 DI

「かなり改善」が増加し、「変わらない」が減少（DIは小幅に上昇）

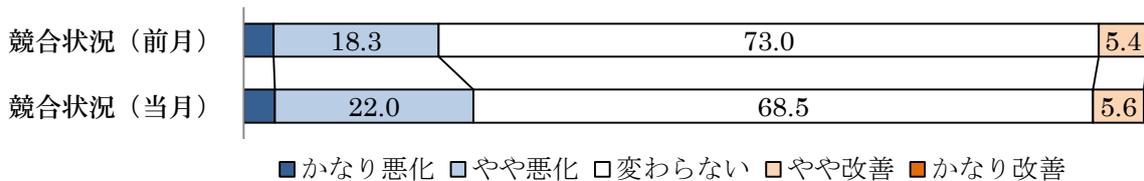
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	0.4	8.7	54.4	35.3	1.2	57.1
購買意欲（当月）	4.7	14.2	32.8	39.2	9.1	58.4



③周辺競合状況 DI

「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に下降）

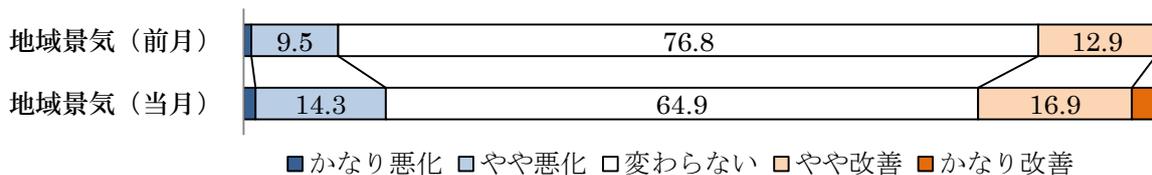
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	3.3	18.3	73.0	5.4	0.0	45.1
競合状況（当月）	3.4	22.0	68.5	5.6	0.4	44.4



④周辺地域景気状況 DI

「変わらない」が減少（DIは小幅に上昇）

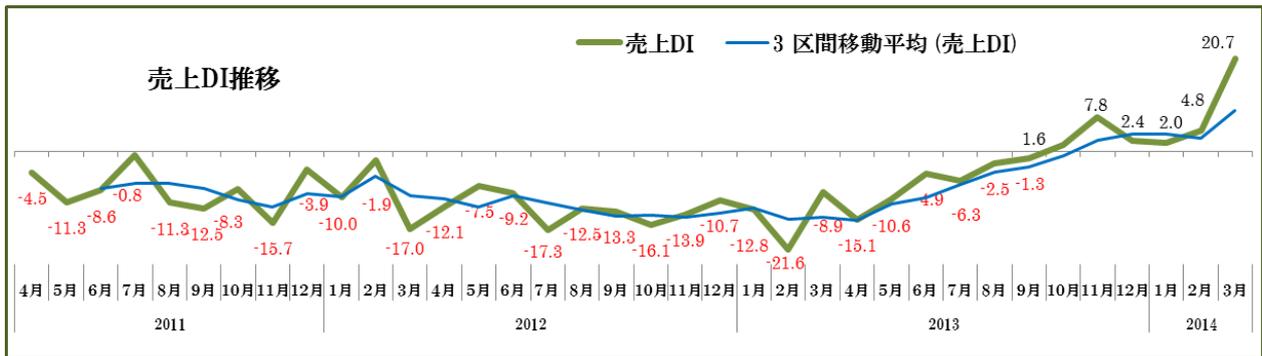
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.8	9.5	76.8	12.9	0.0	50.4
地域景気（当月）	1.3	14.3	64.9	16.9	2.6	51.3



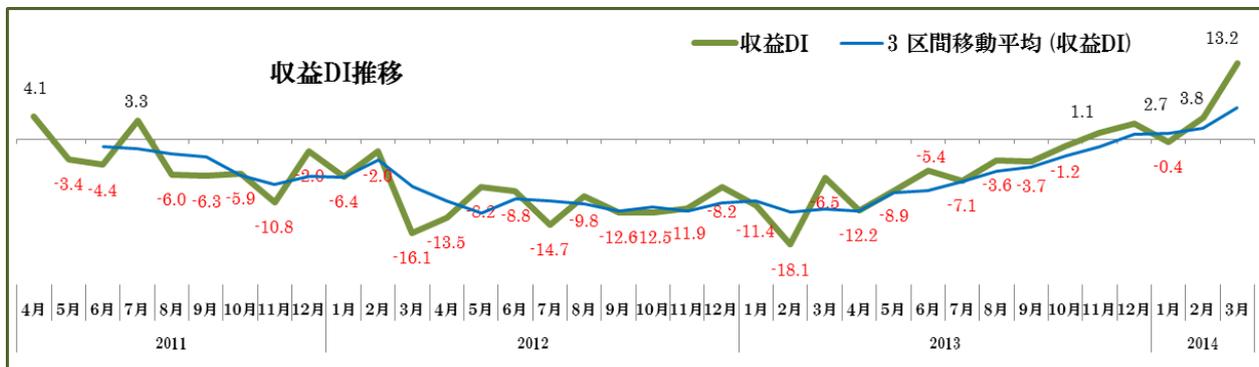
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

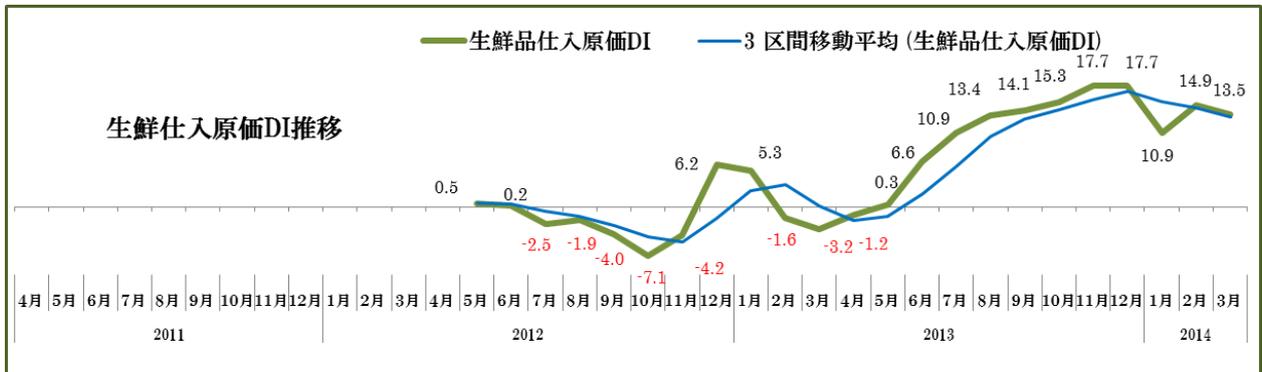
①売上高DI 駆け込み需要により急上昇(最高値更新)、6か月連続でプラスを維持



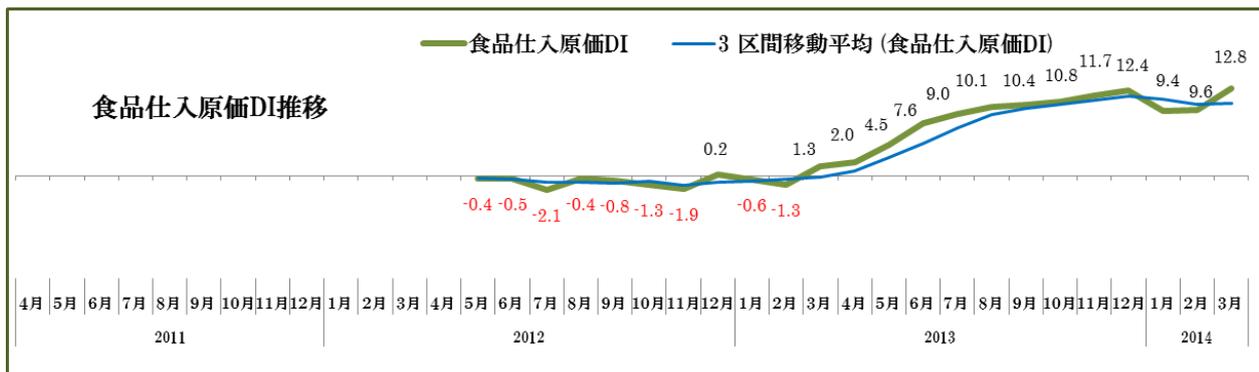
②収益DI 駆け込み需要により急上昇(最高値更新)ゆるやかな上昇傾向続く



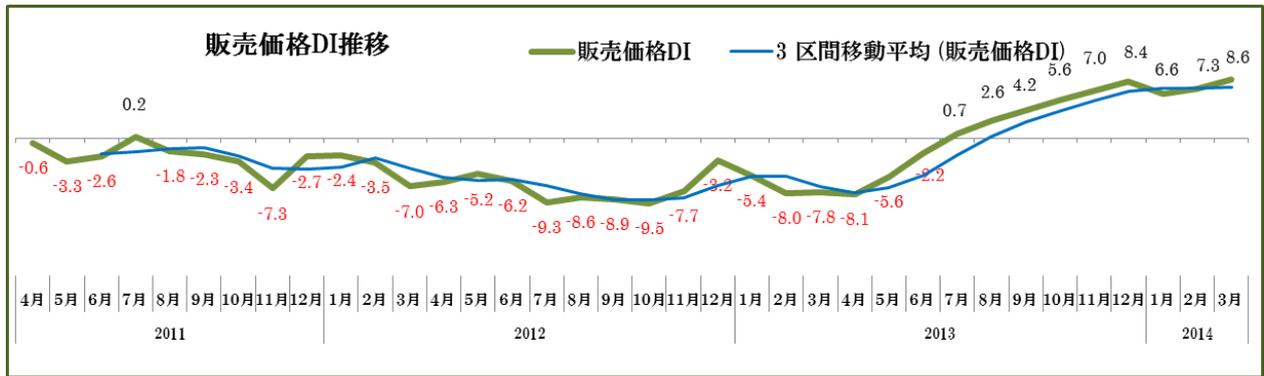
③生鮮仕入原価DI 高水準もゆるやかに下降傾向



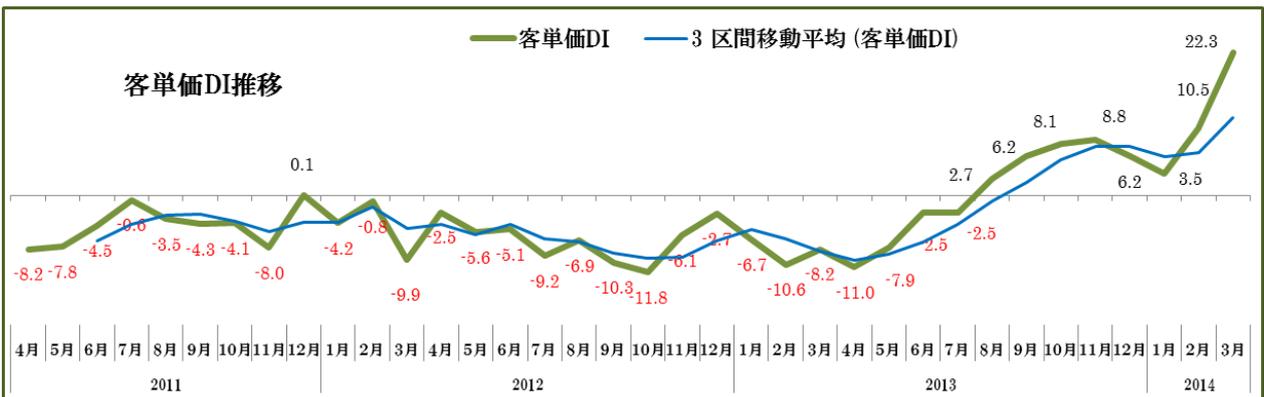
④食品仕入原価DI 当月上昇も直近は横ばい傾向も高水準



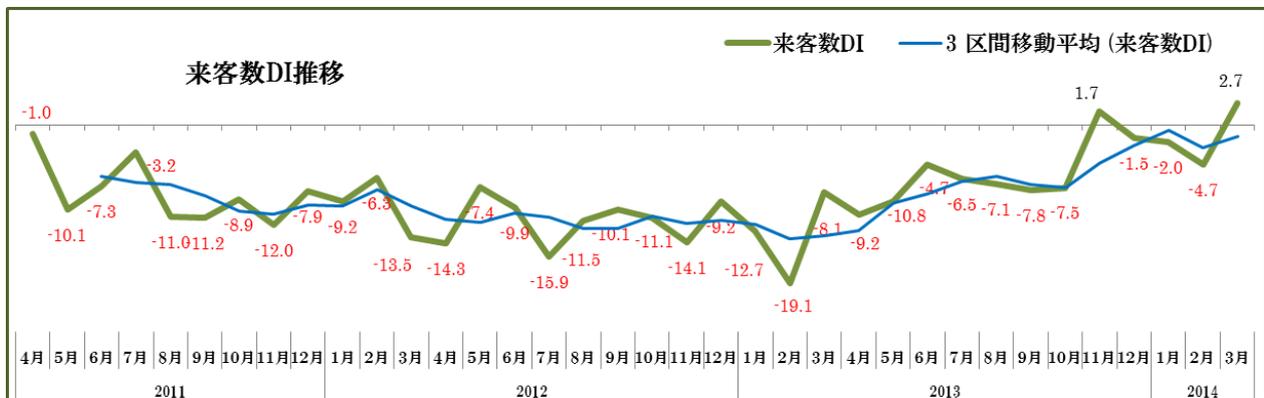
⑤販売価格 DI 当月上昇も直近は横ばい傾向も高水準



⑥客単価 DI 駆け込み需要により急上昇（最高値更新）上昇傾向続く



⑦来客数 DI 当月上昇も方向感定まらず



2. スーパーマーケット景況感調査

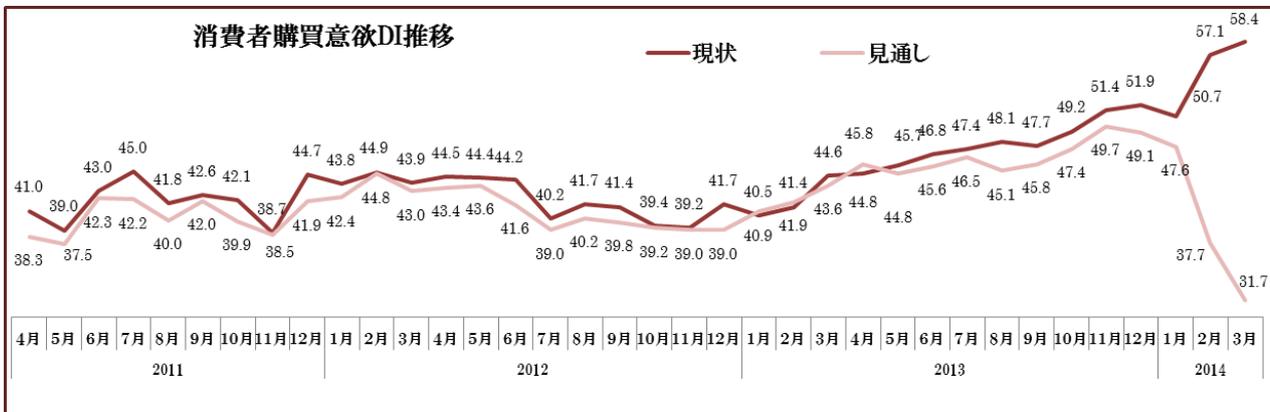
①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は小幅に下降も高水準を維持、見通し判断は大きく下降し、かい離幅広がる



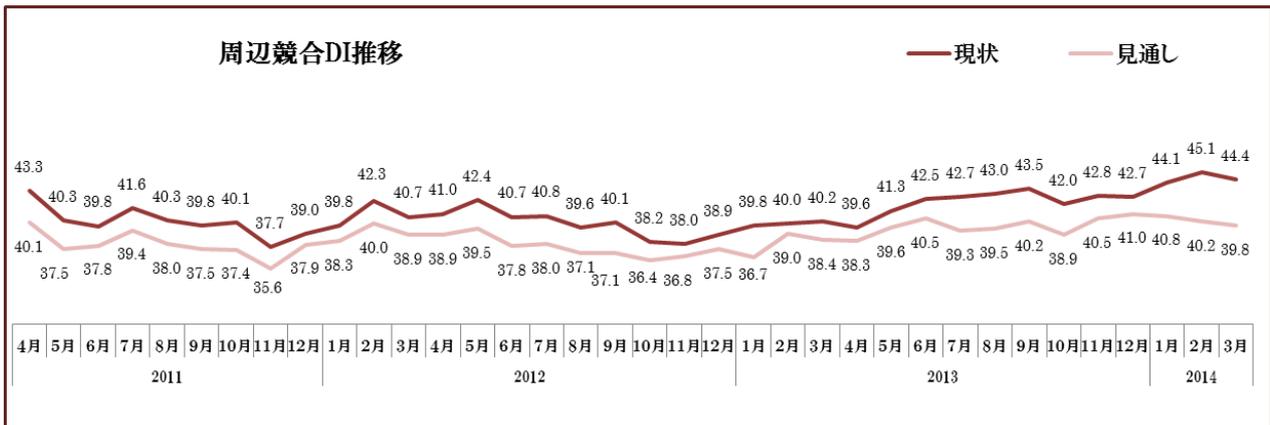
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断は小幅に上昇し最高値を更新、見通し判断は大きく下降、かい離幅広がる



③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断は共に横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

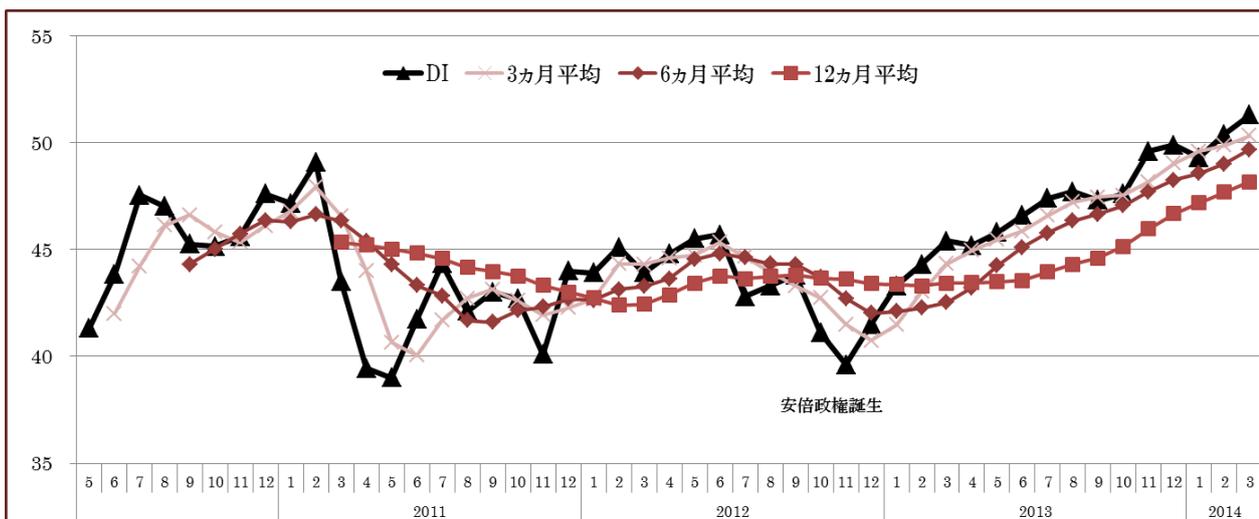
現状判断は小幅に改善し2カ月連続で50を上回るも見通し判断は大きく下降し、かい離幅広がる



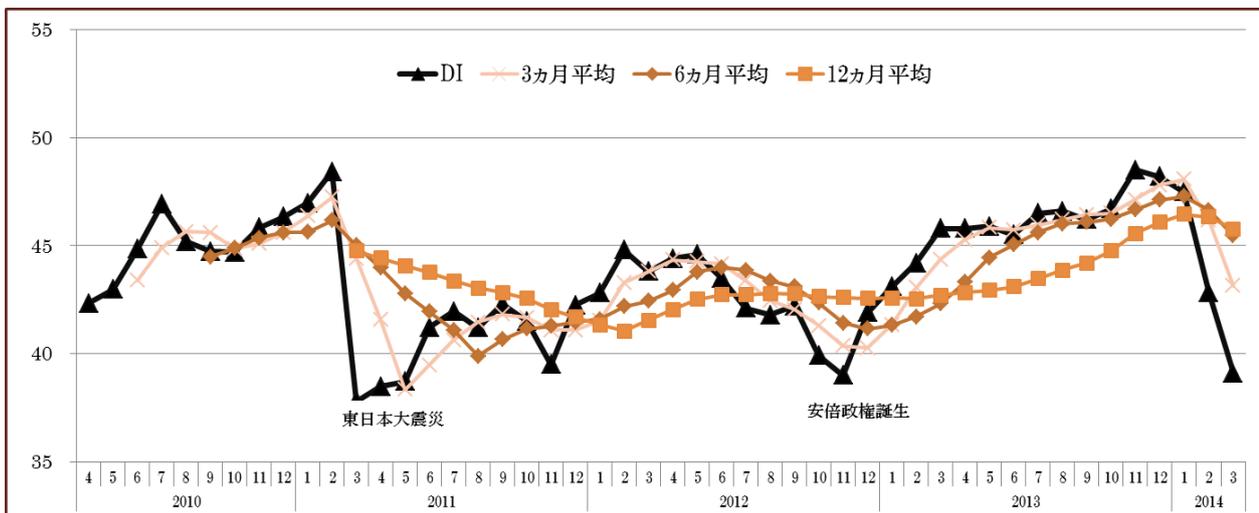
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

当月現状判断DIでは小幅に改善し、各平均線は上向きの推移を維持している。一方で見通し判断は大幅な悪化となり、現状と見通し判断の乖離はさらに拡大しており、消費税率引き上げに対する警戒感が顕著に表れる結果となった。見通し判断DIは、すべての平均線が下向きとなり、2013年11月からの上昇基調は一旦ピークを過ぎたことになる。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）



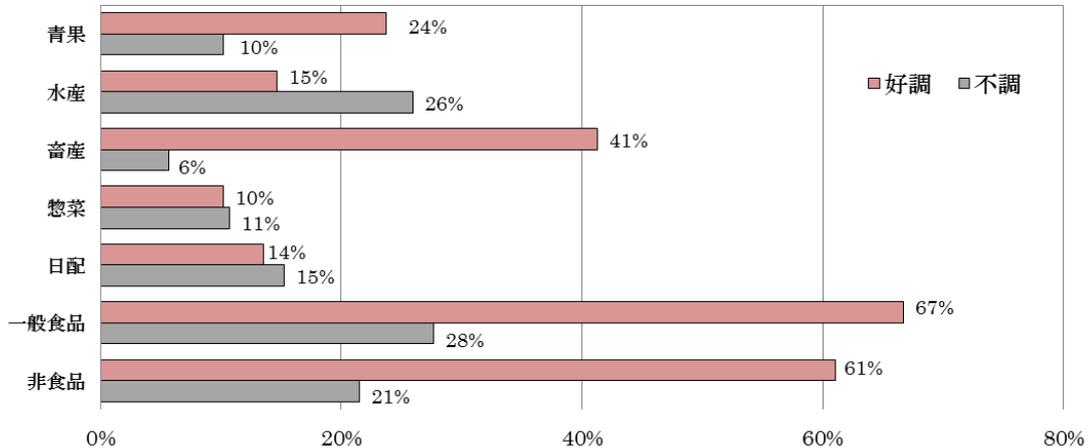
III. カテゴリー別動向

① 好調・不調カテゴリー（回答割合）

好調：①「一般食品」②「非食品」③「畜産」

不調：①「一般食品」②「水産」③「非食品」

2014年3月 カテゴリー別好不調（回答割合）

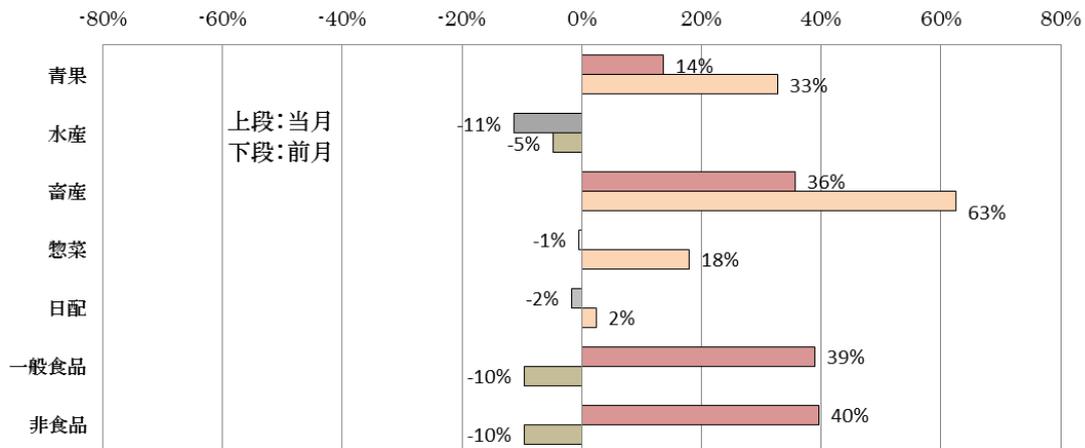


② 好調・不調カテゴリー（回答差）

好調>不調：①「非食品」②「一般食品」③「畜産」

好調<不調：①「水産」

2014年3月 カテゴリー別好不調（好調%－不調%）



※集計企業数=177社

③ 主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	青果相場高、相場安定、花	果物
水産	取組み強化	相場高、品薄
畜産	駆け込み需要、牛肉、(豚肉、加工品)	
惣菜	取組み強化	花見需要のずれ、週末の雨
日配	駆け込み需要	ベーカリー、冷菓(気温の低下)、冷凍食品
一般食品	駆け込み需要(酒、米、調味料)	菓子
非食品	駆け込み需要(日用品、たばこ)	他業態との競合

() は少数コメント

